

# 宮崎港の防波堤（南）整備

- 近い将来発生することが予想されている南海トラフ巨大地震の津波によって、沿岸地域への甚大な被害が懸念されている。
- 津波による港湾施設や背後地域への被害を軽減するとともに、発災直後から一定の港湾機能を発揮し、緊急物資輸送、さらには地域の復興に寄与する施設であるため、南防波堤を改良する。

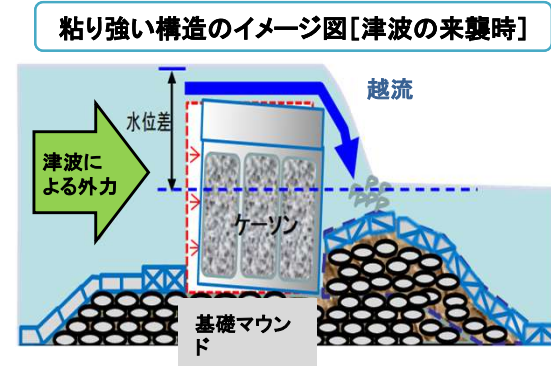


**【参考】宮崎港周辺における想定津波被害**

[想定地震] 南海トラフ地震 + 宮崎県独自モデル	[最大津波高] 16m (宮崎市)
[地震規模] マグニチュード9.1	[浸水深さ] 1~5m (宮崎港付近)
[震度] 震度7 (宮崎市)	[到達時間] 最短18分 (宮崎港付近)

(出典) 宮崎県地震減災計画

## 粘り強い構造への改良

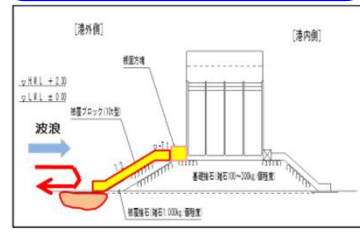


津波が来襲した際、ケーソンは滑動するが、基礎マウンドにめり込み、マウンドからの滑落は生じにくい。マウンドの港内側にも被覆材を設置し、洗掘を防止する。

## 防波堤延伸(400m)

・港内の静穏度確保、及び船舶が安全に減速できるための十分な距離確保を目的として、防波堤の延伸を計画。

## 洗掘対策



H29d アスファルトマット14枚被覆ブロック据付約170個

## ブロック沈下対策



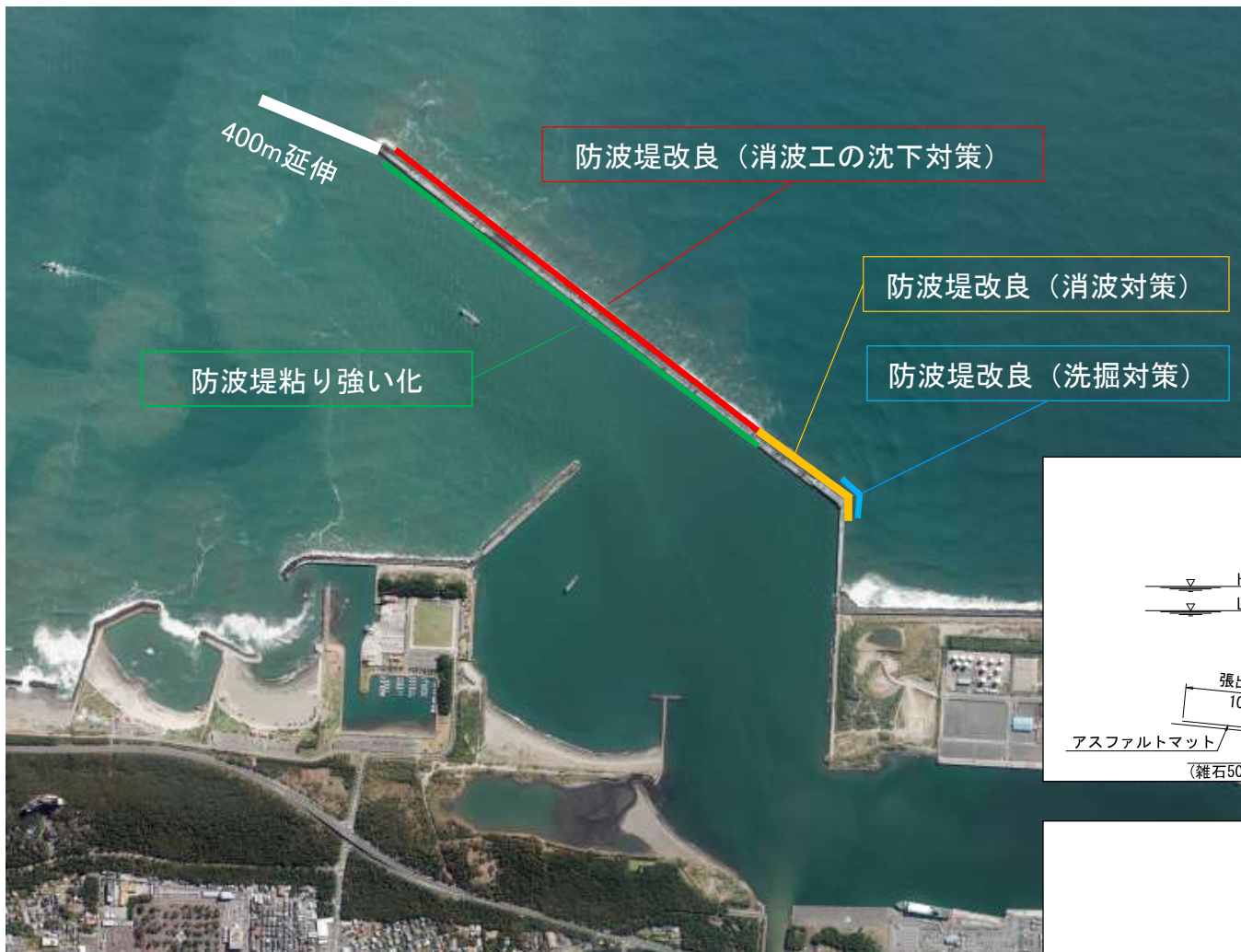
H28d テトラポッド64t型11個据付

## 津波避難施設(県事業)



(提供) 宮崎県

- ・津波発生時に緊急避難する高台
- ・天端高: 13.0~13.5m
- ・津波の想定最大水位: 9~10m
- ・避難スペースにはパーゴラ(東屋) やスツール(椅子)を設置
- 【災害用トイレの機能も有する】



■防波堤 400 m 延伸

■防波堤改良

■防波堤の粘り強い化

